

平成29年度太宰府まちづくり市民意識調査結果

問い合わせ 経営企画課 (☎内線 548・535)

調査概要

- ◇調査対象：市内に居住する18歳以上の市民
- ◇抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出法
- ◇調査期間：平成30年2月10日～23日
- ◇調査対象者数：1,000人(郵送)
- ◇回答数(率)：507件(50.7%)
- ※調査結果は市ホームページでご覧いただけます。

第五次太宰府市総合計画後期基本計画に定める全33施策のうち、重要度が高い5つの施策については昨年度と大きな入れ替わりはありません。「防犯・暴力追放運動の推進」施策の満足度が昨年に比べ上昇しました。

重要度が高い5つの取り組み(全体平均4.51点)

順位	施策	得点	昨年順位
1位	子育て支援の推進	5.35	1位
2位	高齢者福祉の推進	5.22	4位
3位	良質な水道水の安定供給	5.21	3位
4位	社会保障の適正な運営	5.17	2位
5位	障がい福祉の推進	5.14	5位

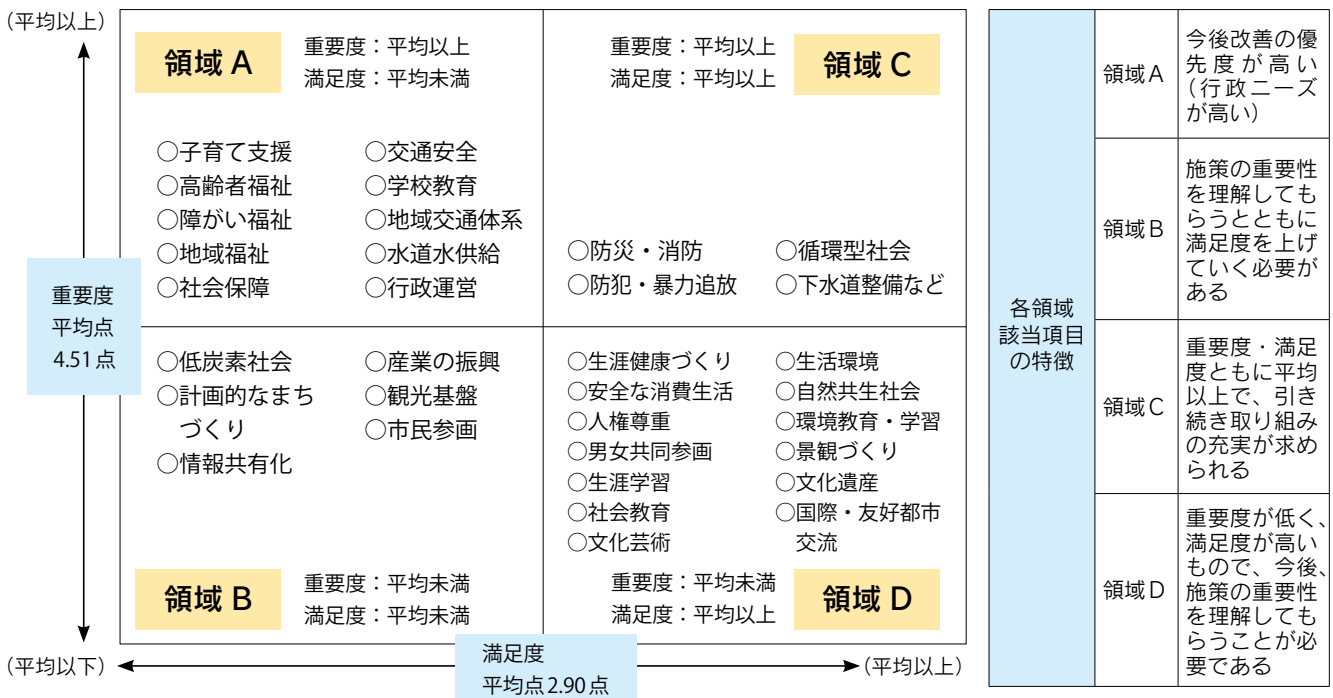
満足度が高い5つの取り組み(全体平均2.90点)

順位	施策	得点	昨年順位
1位	文化遺産の保存と活用	3.60	1位
2位	文化芸術の振興	3.43	3位
3位	人権を尊重するまちづくりの推進	3.37	4位
3位	循環型社会の構築	3.37	2位
5位	防犯・暴力追放運動の推進	3.31	14位

※重要度・満足度の得点について…「重要」「満足」という評価であれば6点、「やや重要」「やや満足」4点、「あまり重要でない」「やや不満」2点、「重要でない」「不満」0点とそれぞれ得点化し、4つの評価の回答者数で割った値

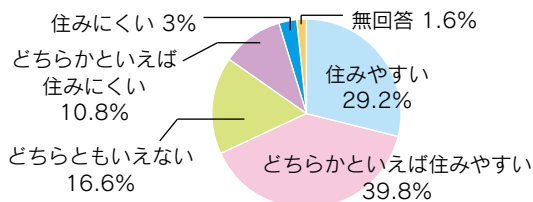
重要度が高く満足度が低い領域Aの10施策は昨年度と同様です。

領域別に見た行政施策



重要度得点と満足度得点の平均値を境界として4つの領域に分けると、重要度が高く満足度が低い、行政ニーズの高いA領域の項目には「地域交通体系の整備」「市民のための行政運営」など10項目があがっています。昨年度と比較しますと、平均点は重要度「4.53→4.51」、満足度「3.05→2.90」となり、全体的に低下しました。また、全体的な値の低下に伴い領域の変化があり、「計画的なまちづくり」が重要度の減少によってA領域からB領域へ移動し、「市民参画の推進」が満足度の低下によりD領域からB領域へ移動しています。皆さんから頂いた結果をもとに、今後さらに事業の充実を図り、重要度理解、満足度向上を目指します。

あなたは太宰府市が
住みやすいまちだと思えますか？



昨年度よりダウン↓↓
満足派の割合
平成29年度：68.0%
平成28年度：74.7%
平成27年度：72.1%